

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能事業所　まいはーとここあ				
		公表日				
		2026年1月13日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容によって、部屋分けをしています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	○		・基本人員を配置したうえで、更に加算取得要件を満たすように配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリー化されています 個室が多く個々の状況に応じて環境設定することができます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・コロナ禍移行、サービス開始前の消毒は欠かさず行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンや専門支援を行うときには状況に応じて個室で行うようにしています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA　サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・全職員、月1回の職員会議へ参加することで、個別支援計画（案）の作成会議を行っています。又、日々の申し送りで情報共有しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・行事ごとにアンケートを行い、次の活動や行事の参考にさせてもらっています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員会議や個人面談で職員一人一人の意見を聞き取り参考にしています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者委員会を設置しておりません。現時点での設置は考えていません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・常に研修や勉強会を行っているわけではありませんが、必要な場合は、職員会議の中で勉強会を行うようにしています
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成しています。ホームページに掲載しているのでご覧ください	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・契約時のアセスメント、半年ごとのモニタリングをお行い計画に反映させています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員会議時、翌月に作成が必要な児童の個別支援計画（案）の作成会議を行い、支援内容の確認を行っています。又、申し送り時、支援内容の確認を行っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・活動記録に個別支援計画を添付していることで常に全職員が確認できるようになっています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・学校の先生や保護者から情報収集を行っています。又日々の活動記録を読み返すことで、職員が周知できるような体制になっています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・職員会議で5領域を含めた「本人支援」「家族支援」「移行支援地域支援・地域連携支援」を踏まえた計画作成会議を行い議論しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・当日のリーダー職員が、集団活動を考え、専門支援計画作成担当職員が個々に必要な支援内容を考えて行っているため固定化したプログラムにはなっていません。児童指導員又は保育士の特性を生かした内容になっています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・保護者とのモニタリングや職員の意見を参考に個々に合った個別支援計画を作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日支援前には申し送りをして、その日の利用者について支援統一を図っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・当日ではありませんが、次の日に振り返りを行うようにしています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・活動記録への記入を怠らずに行っています。見返しが出来るようになっているので、利用した時の様子は月で見ると繋がった支援になっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・計画見直しのために半年ごとのモニタリングを行っています。モニタリングまでの間の期間に、見直しの必要性がある場合はその都度行います	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		・日常生活の充実と、自立支援のための活動、多様な遊びや体験、地域交流主体的に参画できる4つを組み合わせながら支援を行っています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・おやつは、設定金額内で自分が食べたいものを選ぶようにしています。又、選択肢が多い時には、2択にすることで本人が決定しやすいように配慮しています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援責任者、児童指導員や保育士など直接支援に携わる職員が参加しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		・他の福祉サービスについては相談員を通して担当者会議などで共有し、連絡調整しています ・協力医療機関については株式会社心愛と契約をしています ・利用者の主治医とは必要な時に保護者や相談員を通して連携しています
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校との連携は送迎時体調や当日の様子を窺っています ・下校時間に関しては、時間変更など保護者とラインなどで共有するようにしています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		・保護者とのアセスメントを主としていますので就学前の保育園、幼稚園との情報共有は行っていません。相談員がついている場合は情報を得ることが出来ます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・福祉サービスの情報提供は、主に相談員を通して行っています	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・センターとの連携は図っていません。保護者会の中で研修会や講演会を設けることを検討しています
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・児童館との交流は図っていません。会社として地域と交流ができるような行事を考えています
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・安佐南事業所連絡会に可能な限り参加しています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時やライン等で必要な状況や様子は連絡は伝えています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングについては今後保護者会の中で研修会として取り入れていこうと思います
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時先に記してある書類や会社独自の同意書等についての説明は行っています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・半年に一回のモニタリングを行うことで、ニーズを確認しています。また、随時相談があった際にも迅速に対応するようにしています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・会社保管用、保護者用の2枚を提示し計画の同意を得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・日々、相談等に対応できる体制になっています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者の交流が図れるように保護者会を開催しています。年に3～4回の保護者会開催を目指しています。	・「株式会社心愛」として保護者交流が行えるような行事を提供していきたいと思います
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・現時点で苦情がありません。こちらの不手際の際には迅速かつ適切に対応しています。職員との情報共有を怠らないようにしています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的にお便りを発行しています。活動内容をお便りに載せています (写真掲載NGの方はもちろん掲載していません) ・ホームページをリニューアルしていますのでご覧ください	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取り扱いには十分留意しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・相手に応じて、伝え方、発信方法を工夫しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・現在地域との交流を深めるための行事を計画中です	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを作成しています。周知できるように保護者会に書類を用意し、閲覧できるようにしています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCP計画の作成を行っています。又、災害に備え防災グッズや蓄電器などの備えが出来ています。訓練は状況を見ながら定期的に行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時のアセスメントで、確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・看護職員を配置しているため服薬管理等行っています。医師の指示書がある場合は、看護師が対応しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・何かあった場合に、連絡できる様、緊急連絡先などの情報を周知しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成し、次の支援にヒヤリがないよう会議などで検討しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を開催し、事例検討を行うなどして、各自支援の中で意識できるようにしています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束に関しては、虐待防止委員会の中で組織的に決定しています。身体拘束が必要な利用者に対しては、個別支援計画に記載しています	